

盛岡の交通安全・防犯を支える人たちを紹介!

一緒に活動してくれる人を募集中! 興味のある人はくらしの安全課 ☎603-8008へ



地域の交通安全は、
私たちが守ります!

交通指導員



【活動内容】朝の通学路での交通指導や、交通安全教室や啓発活動への参加などの交通事故防止活動

【人員】166人(男性110人、女性56人)※令和2年9月1日時点

阿部 文子さん(61)
(みたけ五)

Q「交通指導員」になったきっかけは何ですか。

A 7年前、交通指導員をしていたママ友に誘われて始めました。ちょうど子どもが巣立って、自分の時間ができた頃で、町内会や地域のために何かできることはないかなと思ってたこともあり、タイミングも良かったんです。

Qどんな活動をしていますか。

A 小学生の登校日に、毎朝通学路の交差点で交通指導をしています。また、近隣の小・中学校の交通安全教室に、指導者として参加しています。今年は残念ながら開催されませんでしたが、チャグチャグ馬コや盛岡さんさ踊り、盛岡秋祭りなど大規模なイベントでの交通指導も活動の一つです。



Q活動を始める前、不安はありませんでしたか。

A 自分の目の前で事故が起きたときにしっかり対応できるか、という不安がありました。それは今も変わりません。ただ、この気持ちか「事故が起らないように気を付けて活動しなければ」という、日々の緊張感につながっていると考えています。

Q実際に活動してみてもいかがでしたか。

A 盛岡秋祭りの山車パレードの交通指導に参加した際、一般道を山車と一緒に歩いたり、パレードの先導することになったときは緊張しましたね。一緒に山車を引いているような感覚で臨機応変に動くことが求められ、大変でしたが、後から考えるととても良い経験でした。

Q活動していて良かったことは何ですか。

A 制服で立っていると、車の運転手や歩行者などいろいろな人たちから注目されるので、常に気持ちが引き締まります。また、子どもたちとあいさつを交わすだけで元気をもらうことができ、身も心も若返った気分になります。保護者からは感謝の言葉、地域の人たちからは「ご苦労さま」とねぎらいの言葉もかけてもらえるんですよ。そうそう、交通安全教室では、それまで自転車に上手に乗れなかった子どもが正しく乗れるよう上達することが多く、その時の達成感は格別です。

Qこれまでの活動の中で、印象的なことは何ですか。

A 昨年、小学校の卒業式の前日に、小学6年生らしき男の子が「6年間ありがとうございました! 握手してください」と声を掛けてくれました。今でもその場面をはっきり覚えているほどです。「交通指導員として活動していて本当に良かったな」と思いましたね。

Q「自分もやってみようかなあ」と思っている人へメッセージを。

A 毎日活動しなければならぬという印象があるかもしれませんが、そんなことはありません。土日のイベントや平日の朝だけなど自分の都合が良い時間に活動できるので、仕事との両立も可能です。交通指導員は平均年齢が高くなり、人数も減少しています。少しでも興味がある人には、ぜひ参加していただきたいですね。

日々の交通指導のおかげで
大人の私たちも安心です!



中野地区での交通安全啓発活動にて
八木 滋夫さん(東家庭一)
美津子さん

交通安全教室を開きませんか?

交通指導員などが、講話や寸劇、体験指導で正しい交通ルールについて教えます。老人クラブや子ども会などで学んでみませんか。

【期日】6月～3月の月曜～金曜

【時間】10時～15時の30分～1時間程度

【料金】無料

【申し込み】

くらしの安全課

☎603-8008



交通安全教室の様子

警察官からのメッセージ

市内の交通事故は、通勤・通学による交通量の増加などにより、朝や夕方に集中します。警察も交通安全や防犯の啓発のためにパトカーなどで日々巡回していますが、全域は見回れません。そのような場で、交通指導や防犯活動をしている皆さんがフォローし、地域の安全を守ってくれるので、本当に助けられています。

盛岡東警察署地域課
上田交番
島山 唯 巡査(20)



夜道を歩くときは
反射材をつけて
さらに安全!

市長 column

「安心・安全なまちもりおか」をつくる

市内では、交通事故や犯罪による被害をなくすためにいろいろな個人や団体が活躍しています。通勤・通学の際などに見かけることも多いのではないのでしょうか。仕事や家事の合い間に、地域を支える活動に取り組んでもらっていることに心から感謝いたします。

今年も年末年始が近づいてきました。交通安全と防犯は、個人や家庭での取り組みが大切です。思いやりのある交通マナーや鍵かけの実施など、一人一人の取り組みで年末年始の交通事故や犯罪を防止し、「安全・安心なまちもりおか」を一緒につくりたいと思います。



盛岡市長
谷藤 裕明

地域を一緒に
守りましょう!

防犯隊



【活動内容】盛岡さんさ踊りなど各種行事・祭典などの警備、季節防犯活動など

【人員】113人(男性98人、女性15人)

※令和2年9月1日時点

北田 亮りょうさん(31)
(黒川13)

Q「防犯隊」になったきっかけは何ですか。

A家業のリンゴ園を継ぐとき、「地域に根差した仕事をするのだから、何か地域に貢献できる活動もしたい」と考えました。そこで先輩の農家に相談したところ、その先輩が防犯隊に所属していて、紹介してもらいました。

Qどんな活動をしていますか。

A広報車に乗って地域の見回りをしたり、盛岡さんさ踊りや盛岡花火の祭典など大規模なイベントで警備をしています。

Q活動を始める前、不安はありませんでしたか。

Aもともと先輩から活動内容を教えてもらっていたので、不安はなかったです。入隊を希望するなら、あらかじめ活動内容をしっかり聞いておいたほうが良いと思います。

Q活動していて良かったことは何ですか。

A防犯隊として活動するようになって、交通指導員や防犯ボランティアなど地域のために活動している人たちの存在を知ることができました。以前は、地域活動をする人たちを意識することがなかったので、自分の視野が広がったと思います。

Qこれまでの活動の中で印象的なことは何ですか。

A「盛岡花火の祭典」の警備のとき、立ち入り禁止区域に入ろうとする人に注意したところ、素直に従ってもらえました。防犯隊の存在が、安全なイベント運営の一助になっていると実感し、やりがいを感じました。

Q「自分もやってみようかなあ」と思っている人へメッセージを。

A防犯隊の活動は、地域の人たちとつながることができる絶好の機会です。また、地域貢献ができて自分の知見も広げることができる活動として、おすすめです。



私たちは、見守り続けます。
子どもたちや高齢者を犯罪から守るため!

防犯ボランティア



【概要】町内会やPTA、企業などがそれぞれの地域で自主的な防犯活動を行う個人・団体

【活動内容】登下校時の通学路の見守り活動や防犯パトロール活動、地域の危険箇所の点検など

●厨川地区防犯連絡会

平成11年設立の防犯ボランティア団体。活動内容は厨川駐在所管内での防犯パトロールや、小学生の下校時の見守り活動など。継続した活動が認められ、「令和2年度若手県犯罪のない安全で安心なまちづくり表彰」を受賞

齊藤 勲いさおさん(69)
(厨川五)

Q「防犯ボランティア」を始めたきっかけは何ですか。

A6年前に町内会長になった際に厨川駐在所の警察官に声を掛けられ、軽い気持ちで引き受けました。地域の町内会や老人クラブの人たちと連携して活動しています。

Qどんな活動をしていますか。

A小学生の下校の見守りや、地域の夏季・夜間見回りの他、年に2回、小学生と一緒に、国道4号沿いで交通安全の旗を持って啓発活動をしています。時間的な拘束が少ないので、今日まで継続できています。

Q活動する中で、気持ちや考え方などに変化は。

A始めるまでは、活動の成果がどの程度あるのかわかりませんでした。実際の活動で地域の人たちや子どもたちから笑顔で話しかけてもらう中で、次第に、「このベスト姿で活動するからこそ、認めてくれ、安心してくれるんだな」と思うようになりました。この活動が犯罪の抑止と子どもたちの安心につながっていると感じ、それが原動力にもなっています。

Q活動していて良かったことは何ですか。

A信号待ちのわずかな時間に、子どもたちと話をして元気もらっています。孫のようにかわいいですね。元気なあいさつをもらえるだけでも、やっていて良かったなと思います。

Q「自分もやってみようかなあ」と思っている人へメッセージを。

A防犯ボランティアは町内会や小学校区単位で活動しているので、まずは町内会に聞いてみて、一度見守り活動などに参加してみることをおすすめします。ちなみに私たちの町内会では、回覧板などで下校時の見守り活動への参加を呼び掛けている。あくまでもボランティアですから強制力はありません。時間があるときにも、気軽に参加してほしいですね。



私たちの登下校を
いつも見守ってくれて
ありがとう!



北厨川小学校の子どもたち(2年)

左から

後列 佐々木 るい さん 田中 莉央 奈さん

前列 本城 夏芽 さん 佐々木 里咲さん